

## 宝くじの助成金を活用しました

このたび、大島地区自治会連絡協議会および東和地区自治会連絡協議会では、「コミュニティ助成事業」を活用し、コミュニティ活動に必要な備品等を整備し、8月1日、椎木町長へ報告を行いました。

「コミュニティ助成事業」は（二財）自治総合センターによる宝くじの社会貢献広報事業として、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に行われています。

この助成で大島地区自治会連絡協議会では、テレビ、机、座椅子、スクリーン、物置、刈払機などを、東和地区連絡協議会では、ラジオや簡易トイレなどの防災用品をそれぞれ購入し、地区の集会所に整備しました。

## 橋総合支所の 建設工事が始まりました

8月12日、橋庁舎において橋総合支所建設工事の起工式が挙行されました。

橋庁舎（旧橋町役場）は昭和47年に建てられ、建築後40年以上が経過し老朽化しているため、耐震化を推進します。橋総合支所は現在の位置から南側に新しく建て替えられ、鉄骨造平屋建て、延べ床面積は405㎡、完成予定は平成27年3月下旬です。



くわ入れをする椎木町長



▲東和地区自治会連絡協議会会長行田茂美さんが、町長へ報告を行いました。



▲大島地区自治会連絡協議会会長田中忠治さんが、町長へ報告を行いました。

## 地域おこし協力隊 三浦宏之

## 「お役に立てれば、幸いです。」19

定住促進協議会日良居分室

☎0820(73) 0234

周防大島の夏。昨年は町内各所で催される盆踊りに参加し、その数の多さに驚きながら、伝統ある太鼓や踊りを楽しませていただきました。今年は一泊三箇所ハシゴしたり、より多くの盆踊りを体験することが出来ました。去年よりさらに多くの人で賑わっていたように思います。

そして、今年はおうひとつの踊り、瀬戸内のハワイ周防大島のアロハな週末サタデーフラ（サタフラ）に大きな魅力を感じました。海を望む最高のロケーションで、満天の星空のもと、天然芝の上で裸足で披露されるフラ。期間中、全国から約110チームが参加し、周防大島の夏を盛り上げてくれました。7月下旬に広島で行われたハワイアンフェスティバルでは多くのフラチームとお話する機会があり、周防大島とサタフラに對し、かなりの好印象を持たれていることが分かりました。周防大島がフラの聖地として全国的な注目を集める日も近いのではと期待

してまいります。来年は町内の多くの方に足を運んでいただき、その空気を感じながら、全国のフラガールたちをウエルカムしていただけたらと思います。

さて、毎月恒例の海岸清掃、今回は、10月4日(土)午前10時より三浦の西の浜を清掃します。周防大島UIターンを応援する会・島くらすと美しい三浦を創る会による共同開催です。台風11号の影響による多くの漂着ゴミをみんなの力で片付けられたらと思います。ご協力のほどよろしくお願い致します。



▲今年のサタフラの様子